

提出日：2018 年 3 月 14 日

- 1 クラブ名：横須賀南西ロータリークラブ  
2 プロジェクト名：「まんだい寺子屋」～米山梅吉が最も目をかけた男、万代順四郎の遺志をつなごう～

[申請確認事項] (※該当する項目を■にしてください)

- 3 継続または新規：■新規  継続 (  過去補助金受給なし  前回補助金受給年月日.....年 )
- 4 プロジェクト対象： 人道的 ■教育的 ■一般奉仕事業  環境・地域貢献  地域イベント
- 5 受領資格の確認： ■ 財団の使命に関連したプロジェクトです。  
■ ロータリアンが積極的に参加します。  
※上記2項目は地区補助金プロジェクトの必須条件です。
- 6 制約事項の確認： チケット代・入場料 (障がい者への支援を除く)  史跡の標識・モニュメント  
 文化的イベント  募金活動  コンサート  金銭だけの協賛金  
 講演会  ロータリー行事  土地・建物購入  使途無指定の現金寄付  
 広報 (プロジェクト実施に必要な広報を除く)  賞品・景品  
 既に経費が発生している  他団体の運営費、管理費、プログラムに関連しない費用  
※上記項目に該当するプロジェクトには補助金を利用することはできません。
- 物品の寄贈  飲食  クラブが参加するイベントへの協賛金  プロジェクト実施に必要な広報  
※上記項目に該当する場合は、プロジェクト実施に必要な理由を記入してください。
- 7 クラブ拠出金：■ プロジェクト費用の 20%以上をクラブより拠出します。  
■ プロジェクト実施後のクラブ拠出金余剰金は財団年次基金へ寄付します。
- 8 クラブ承認：■ 補助金申請のためのプロジェクト計画はクラブ理事会にて承認されています。
- 9 利害の対立： プロジェクトから利益を得る可能性のあるロータリアンがいます。  
※上記項目に該当する場合は、該当者のお名前と役割を記入してください。
- 10 完了報告書：■ プロジェクト終了後 1 ヶ月以内、最終期限 2018 年 5 月 31 日までに提出します。
- [プロジェクト提案] ■一般応募 (補助金申請額 500,000 円以下)  特別応募 (500,000 円超)

11 プロジェクトの概要を記入してください。(800文字程度 写真・イラストを使用しても結構です)

横須賀市津久井に「万代会館」という古民家があるのをご存じだろうか。  
かつて、故・万代順四郎氏の居宅であった建物だ。



### 万代順四郎と米山梅吉

この万代順四郎こそ、「米山梅吉が最も目をかけた男」と言えるだろう。

東京英和学校(現青山学院大)の後輩であり、互いの恩師である本多庸一を介して知り合い、若き日の米山が厚く信頼し三井銀行に招いた。その後、万代は三井銀行会長・帝国銀行会長・全国銀行協会連合会会長・東京通信工業(現ソニー)会長・トヨタ自動車工業相談役などを歴任した。

そして、米山と同様、万代もまた公益のために自らを捧げた。とりわけ、米山の後を継ぐかたちで青山学院大学の財務理事となり、その後、理事長や校友会会長を務め、多額の寄付も重ねた。



その一方で自らは、津久井の鄙びた自宅で質素な生活を送った。自ら野菜や麦を作り、鳥やミツバチを飼い、妻と2人で自給自足に近い暮らしを送った。地域の子供達をこよなく愛し、地域の人々から「万代先生」と呼ばれて親しまれた。

現在、この万代の居宅は、万代家の寄贈により横須賀市教育委員会が所管する社会教育施設となっている。

### 一時は廃止も計画された万代会館

しかし、一時は市が廃止を表明し、土地の売却まで検討され、存続が危ぶまれた。その後、地域住民や市民団体の保存活動や市議会での反対の声を受け、現在では保存活用に向けた検討がなされている。ただし、現在の利用は極めて低調である。万代の遺志であった「教育・福祉のために」という寄贈の意図も十分に果たされているとは言えない。



### 「まんだい寺子屋」と収益事業を

そこで、地域の偉人に再び光を当て、横須賀市南西地域の子供達に語り伝え、米山や万代のような公益の志を持った人材を育むべく、万代会館を舞台とした社会教育プログラム「まんだい寺子屋」を開催する。

加えて、こうした取り組みは決して一過性のもてはいけない。そのため、地域の観光協会や民間事業者とも協力し、景観の面でも優れたこの施設を活用してカフェや宿泊・写真撮影などの収益事業を行い、社会教育プログラムの財源とすることができないか可能性を模索する。

具体的には、民間事業者による事業化提案のサウンディング調査、地域住民の意向調査、有識者や市民団体も交えたワークショップなどを実施し、利活用の方策をまとめ、市に提言する。



12 プロジェクト期間：2018年7月2日 ～ 2019年5月13日  
(※2018年7月1日以降開始～2019年5月15日終了のプロジェクトとしてください。)

13 プロジェクトの目的：  
プロジェクトを実施することによって、どのような成果を得ることができるのか記入してください。

大きく、3つの目的がある。

#### (1)社会教育

本来ならば、社会教育施設では社会教育主事の手で国民の文化的な生活を向上させるために様々なプログラムを催し、子供から大人までの学びを提供することが理想的であり、本来の施設設置の理念である。しかし横須賀市においては予算面から施設ごとの社会教育主事を廃止しており、社会教育施設はいずれも単なる貸館へと墮している。

そこで、万代会館においては、地域の熱心な人材に委嘱しながら、ロータリアンと協力して様々な社会教育プログラムを企画し、「まんたい寺子屋」と題して提供する。この中で、万代順四郎の人となりや歩みにもふれる。万代順四郎について学ぶことは、郷土の歴史や日本近代の歩みを知ることにもつながる。また、万代順四郎や米山梅吉のように、公益のために人生の一部を使う豊かな生き方に目を拓くきっかけとなる。

#### (2)万代会館の活用

米山梅吉は、事業分野を公益活動とした実業家であった。一過性の施しではなく、仕組みと組織をつくり、いわば「慈善ビジネス」を生み出し続けたシリアル・アントレプレナーであった。三井信託銀行創業にあたってその精神を以って臨み、とりわけ三井報恩会においては、数々の公益事業の仕組みと組織を日本に残した。

この精神を受け、万代会館においても指定管理者制度や公民連携の活用によって収益事業を導入し社会教育プログラムを単年度ではなく継続的に提供できる財政や組織の基盤を構築することを模索し、市に提言する。

#### (3)万代会館の保存

万代会館は、一部の市民にしかその存在を知られず利用も低調で、いわば「死蔵」されていたことから廃止の対象となった。

そこで、上記(1)(2)を通して、万代会館が地域や利用者から愛され、廃止など考えもつかない状況を作っていく。

14 受益者：  
このプロジェクトで恩恵を受ける人や地域（受益者）の具体的な情報を記入してください。

例：恩恵を受ける人達の人数、対象となる人や地域が抱えている課題、プロジェクトによって改善や解決できる問題点、受益者からの要望、等

恩恵を受ける人数は、1回あたりの社会教育プログラムで20人が参加したとして、200名を見込む。また、事業化できた場合は、単年度だけでなく毎年数百人が恩恵をこうむる。また、事業化できた場合には、地域に雇用も生むことができる。

対象となる人や地域が抱えている課題やプロジェクトによって改善や解決できる問題点としては、2点ある。津久井には、まちの中心がない。地域の中心部に位置する万代会館をコミュニティの中心として再生することで、地域コミュニティの活性化が図れる。また、「死蔵」されていた公共施設の有効活用ともなる。

15 他団体が実施している同様のプロジェクトはありますか？： ある ない  
「ある」の場合、実施しているプロジェクト名、実施団体、貴クラブが実施する理由を記入してください。

16 実施場所：万代会館およびその周辺の学校

17 実施場所の選択理由：万代順四郎が愛した地域と子供達に向けた活動とすべきであるため

18 予算：

- ①プロジェクト総費用予定額： 609,880円
- ②地区補助金申請額： 428,880円
- ③クラブ拠出金額： 181,000円 29%（※プロジェクト総額の20%以上）
- ④内訳（地区補助金を含む全ての内訳）

分類	内容	数量	単位	単価	金額
■補助金 □クラブ拠出	社会教育企画担当者人件費	320	時間	956	305,920
■補助金 □クラブ拠出	教育プログラム講師講演料	10	回	11,000	110,000
■補助金 □クラブ拠出	教育プログラム開催時の資料印刷代	10	回	1,080	10,800
■補助金 □クラブ拠出	模造紙・文具類の購入費	1	式	2,000	2,160
□補助金 ■クラブ拠出	日本郵政(株)「エリアメール」による 住民アンケート発送	800	世帯	55	44,000
□補助金 ■クラブ拠出	住民アンケート印刷代	800	部	30	24,000
□補助金 ■クラブ拠出	アンケート集計外部委託料	1	式	43,200	43,200
□補助金 ■クラブ拠出	事業者訪問時の交通費	10	回	1,580	15,800
□補助金 ■クラブ拠出	万代会館紹介用宣材としての写真撮 影費用	1	式	54,000	54,000
合計					<b>609,880円</b>

※見積書の提出は申請時に不要です。ただし、詳細な項目および精度の高い見積金額を記載してください。

曖昧な予算提示は選考結果に影響します。（地区委員会より見積書の提出を求める場合があります。）

19 プロジェクトにはどのようにロータリアンが積極的に参加しますか？

当初においては、社会教育プログラムの企画を市民団体らとともに行う。  
 社会教育プログラムを開始した後は、積極的にプログラムに参加するとともに、小学生・中学生・高校生・大学生と一緒に万代会館の利活用の方法を考えるワークショップを行う。  
 また、市民団体が実施する茅葺屋根の葺き替えや修繕の作業にも積極的に参加し、地域住民や市民団体との関係を構築し、理解を深める。

20 プロジェクトをどのような方法で一般の人々に広報しますか。

北下浦地域運営協議会および北下浦観光協会のパンフレットに掲載してもらい、地域住民に回覧板で配られるようにする。これは、費用をかけずにしっかりと情報を届ける最も有効な方法となる。  
 また、横須賀市政記者クラブにてプレスリリースおよび記者会見を実施し、全国紙の地方面や神奈川新聞、タウンニュース横須賀版といった有力なメディアに掲載されるように手配する。

21 本プロジェクトに協力団体が関与する場合は、協力団体名を記入してください。また、活動にあたっての責任事項とプロジェクトにおいてどのようにロータリアンがその団体と協力し合うことになるかを明記してください。

協力団体：「万代会館を愛する会」、「万代会館プロジェクト」、北下浦地域運営協議会、  
 津久井小学校、北下浦中学校、津久井浜高校、青山学院大学・杉浦塾之教授ゼミ、  
 北下浦観光協会、うみべのえほんやツバメ号

基本的には、実施主体は横須賀南西 RC となり、一切の責任を担う。  
 ただし、学校における総合的学習の授業への組み込みや、講師の派遣など、様々な連携が必要となる。